

先日「踏切好きの男の子」・・・に3Dプリンターで自作した踏切キットを送ってあげました。「フミキラー」とか「踏み鉄」というらしいです。私も小さい時は踏切が好きで、自宅近くの京王線の踏切（当時は田んぼの真ん中にありました）を見るのが好きでした。何度も見ているうちに、だんだん「見る」から「観察する」に変わっていった気がします。特急が通過する時と、各駅が通過する時では速度がちがうので、警報機が鳴り始める時間も違うことに気づいたりしました。そのことを作文に書いたら、担任の並木先生が「千尋くんは何でもよく観察していますね」というコメントを書いてくれたのも覚えています。そんな記憶があるので、小さな男の子が「踏み鉄」になる気持ちもよくわかります。

送ってあげた踏切キットはとても喜んでくれたようで、さっそく遊んでいる写真が届きました。プラレールと組み合わせて遊ぶのも思いついたようで、なかなかおりこうですね！もっと「鉄道部品」を作ってみたくまりました！（ご両親の許可を得て掲載）

